



早いもので、20日火曜日は1学期の終業式になります。昨年同様、新型コロナウイルス感染症に気をつけながらの1学期でしたが、各ご家庭の皆様や地域の方々、また学校をサポートして下さる関係機関の方々のおかげで、大きな事故もなく今日が迎えられていることに心から感謝いたします。ワクチン接種も進んではきていますが、まだまだ気が抜けない状況です。

「例年通り」ではいけないことも多く、学校行事やPTA活動等、様々なところに「安心・安全」「感染拡大防止」の視点からの見直しや工夫が必要で、2学期も同様な状況が続くことも予想されます。夏休みも、各ご家庭で感染防止の取組を引き続きお願いいたしますとともに、行事の多い2学期も様々な変更等もあるかも知れませんが、ご理解とご協力をいただきますようどうぞよろしくお願い申し上げます。

「防災」について学習！

長かった今年の梅雨が、やっと明けました。ただ、ご承知の通り、毎年のようになった大雨の被害が、今年も全国各地で見られました。

「災害」は、本当にいつ、どこで起こるか分からないなど改めて痛感します。

今、6年生は「総合的な学習」で、「自然災害」や「防災」について勉強しています。大きな地震を経験した本校の子供たちにとっては、特に大切な学習だと感じます。昨日は、その一環として、役場の方々にゲストティーチャーとして学習支援に来ていただき、防災倉庫やマンホールトイレ等についても説明していただきました。



防災倉庫の左(A)は救助用具、中(B)は生活用品、右(C)は食料に区分されています。ほ乳瓶やアレルギー対応食品、畳なども備えてありました。また、分散型の良さも説明していただきました。



昨年、駐車場に作られたマンホールトイレ。今回、建屋も張っていただきました。車椅子対応の水洗トイレになります。

気持ちのよい挨拶

本校の今年度のめあては「笑顔で挨拶、元気に運動、家でも学習、読書のすすめ」ですが、1学期の子供たちの生活を見ていて、「挨拶」はずいぶん意識できる児童が多くなったなあと感じます。今年度の児童会でも下のスローガンを掲げて、朝の挨拶運動や委員会活動等で取り組んでいる成果もあると思います。もともと習慣付いていた児童はもちろん、ご家庭や地域の方々の声かけ、周りの友達からの影響で気持ちの良い挨拶を意識できる子も増えてきているなと感じることで。7月5日に今年度1回目の学校運営協議会が行われ、その席でも、委員となっておられる地域の方が、下校途中で、自分たちを横断させるために止まってくれた車の運転手さんに、「ありがとうございました」と頭を下げていた児童の姿を見て、とてもうれしく胸が熱くなったとお話されました。子供たちの笑顔の挨拶がこれからも益々増えてくれたらと願っています。



児童玄関にある今年の児童会スローガン